

(チーム名) (チーム名)

A1 **大阪グッパーズ** 39 66 **Horsetail**

12 1P 18
 7 2P 20
 12 3P 18
 8 4P 10
 延長

【1回戦】

大阪グッパーズ											Horsetail														
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル			
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P
4	松宮正直	2.0	円内	⊗	14	6	0	2	0	1	1	0	4	林一美	1.5	円内	×	2	1	0	0	0	0	0	1
5	村上匡司	2.0	円外										⑤	小田勇人	1.5	円内	⊗	14	7	0	0	1	0	0	1
6	萩家嘉弘	1.0	円内										7	井田雄一朗	2.0	円内									
7	尾崎一久	2.5	円外										8	関谷和男	2.5	円外	×	2	1	0	0	0	0	0	0
8	内堀貴弘	1.0	円内										9	成毛裕継	3.5	上	⊗	14	7	0	0	1	1	0	0
9	柳楽充	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	10	神山浩二	3.0	上	⊗	4	2	0	0	2	0	0	0
10	吉野真旨	3.5	上	⊗	10	5	0	0	0	0	1	1	12	池田恭至	2.0	円外	×	8	4	0	0	0	0	0	0
11	楠本成一	2.0	円内	⊗	10	5	0	0	0	1	0	1	13	渡辺豪紀	4.0	上	×	10	5	0	0	0	0	1	0
12	石本恵一	4.0	上										14	佐藤喜昭	3.0	円外	×	4	2	0	0	1	1	1	0
⑬	梶本佳史	3.0	上	⊗	5	2	0	1	0	0	0	0	15	茅根久	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0
													16	滝沢晃司	3.0	上									
													17	河野俊介	2.5	円外	⊗	8	4	0	0	0	0	0	0
コーチ	吉野由佳里				—	—	—	—					コーチ	水田靖士				—	—	—	—				
合計					39	18	0	3	0	2	2	2	合計					66	33	0	0	5	2	2	2

主審	小林輝久	副審	佐藤いづみ	副審	小泉純子	記録者	天羽尚
----	------	----	-------	----	------	-----	-----

戦評

1Q、ホーステール#17からの得点からゲームスタート。すかさず大阪#10、取り返す。が、ホーステール#5, 9のシュートが決まり、大阪も入れ返す。ホーステールがオールコートマンツーマンツアを仕掛け、大阪なかなか思うようにボール運びが出来なかったが、大阪#10のランニングシュート、#4の円内シュートで追いつける。1Q 18-12で終わる。

2Q、第2Q立ち上がり、大阪#13の速攻が決まり、バスケットカウントフリースローも決まり、良いスタートを切った。しかしホーステールの厳しいディフェンスと#9の確率の高いシュートで5分過ぎには28-17になる。その後も大阪のターンオーバーが続き、なかなか点に結び付かず、結局38-19で前半が終わる。

3Q、ホーステールがメンバーチェンジをしたが、前半と変わらず厳しいディフェンスの前に大阪が得点を重ねることが出来ず。ホーステール#12、13のシュートが決まり、なかなか点数を縮めることが出来ない。56-31で3Qが終わる。

4Q、4Qに入り、ボールを運べるようになった大阪だが、パスミス、シュートミスが続き、点数が取れないまま、66-39で試合が終わる。結果、ホーステールの厳しいディフェンスと、確率の高いシュートが目立つ試合だった。

B1	(チーム名) KINGS	54	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>16</td><td>1P</td><td>17</td></tr> <tr><td>14</td><td>2P</td><td>15</td></tr> <tr><td>14</td><td>3P</td><td>2</td></tr> <tr><td>10</td><td>4P</td><td>9</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">延長</td></tr> </table>	16	1P	17	14	2P	15	14	3P	2	10	4P	9	延長			43	(チーム名) ロス・キホーテス
16	1P	17																		
14	2P	15																		
14	3P	2																		
10	4P	9																		
延長																				
【1回戦】																				

KINGS											ロス・キホーテス																																											
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル																																
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P																													
6	橘田明洋	3.0	上																																																			
⑦	金村茂治	1.0	円内	⊗	2	1	0	0	0	0	2	0	1																																									
8	澤田公則	1.5	円内																																																			
10	安江一家	2.5	円外	⊗	10	5	0	0	0	0	0	0	0																																									
11	荒川和己	3.0	上																																																			
12	田中祐嗣	3.5	円外	⊗	8	4	0	0	0	2	0	0	1																																									
15	宇野貴宏	3.0	円外	⊗	14	7	0	0	1	1	1	0																																										
16	末続豊樹	1.5	円内	⊗	20	10	0	0	0	0	1	1	0																																									
17	平野幸子	1.5	円内																																																			
コーチ		杉 浦 寿 信			—	—	—	—						コーチ		中 村 宏 一			—	—	—	—																																
合計					54	27	0	0	3	4	2	2	合計					43	19	0	5	0	1	4	3																													

主 審	長 島 英 司	副 審	松 元 健	副 審	山 田 拓	記 録 者	石 川 瑠 音
-----	---------	-----	-------	-----	-------	-------	---------

戦 評

1Q、KINGS#12田中の得点で始まる。両チーム、オールコート マンツーマンを守るが、ロス・キホーテス#5齋場のボール運びで、円内のアウトナンバーを作り出される。KINGSも早い展開からの連続ミドルで応戦し、16-17でロス・キホーテスのリードで終了。

2Q、ディフェンスからリズムを作ろうとするKINGSだが、ロス・キホーテス#5齋場のボールコントロールからの円内のシュートを確実に決められなかなか追いつけないKINGS。しかし、残り1分KINGS#12田中・#10安江のミドルシュートでくらいつき、30-32で前半終了。

3Q、開始早々ロス・キホーテス#15岸のカウントでつき離しにかかるも、互いにミスが続く試合展開の中、徐々にKINGSの守りが機能し厳しいディフェンスにより、ボールをうまくコントロールできないロス・キホーテスは得点できず。一方、KINGSは#10安江のミドルなどで安定した攻撃を見せ44-34とKINGS10点差をつけ終了。

4Q、ロス・キホーテス#14佐野の加入により、確実にボールを運び、円内得点を重ね、追い上げムードになるかに見えたが、なかなか点差が縮まらず、54-43でKINGSが初戦突破。

C1	(チーム名) ダンク岡山	36	(14 1P 12) (14 2P 13) (4 3P 18) (4 4P 17) 延長	60	(チーム名) 博多パトラッシュ
【1回戦】					

ダンク岡山											博多パトラッシュ															
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P	
4	石戸大輔	3.0	円外										4	堀貴志	4.0	上	⊗	31	14	0	3	0	1	0	0	
5	山辺恵亮	1.0	円内	⊗	4	2	0	0	0	0	0	0	5	内藤充昭	1.0	円内										
⑥	林大輔	4.0	上	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	⑥	占部誠	2.5	円外	⊗	10	5	0	0	0	0	1	1	
7	難波真澄	1.5	円内	⊗	14	7	0	0	1	0	0	0	7	眞子武臣	1.0	円内										
8	信谷千鶴子	1.5	円内	×	0	0	0	0	0	0	0	0	8	岡田正義	1.5	円内										
9	木村和希	2.0	円外	⊗	4	2	0	0	1	1	1	0	9	池松清治	3.0	円外	×	4	2	0	0	0	0	0	0	
11	豊田弘道	3.0	上										10	宗高弘	1.5	円内										
12	宮地秀典	1.0	円内										13	久野修平	1.0	円内	⊗	3	1	0	1	1	1	0	0	
14	稲田佳泰	3.0	上	⊗	10	5	0	0	1	0	0	0	15	坂下和仁	1.0	円内	⊗	10	5	0	0	0	0	0	0	
15	中桐正治	2.5	円外										17	猪谷有史	3.0	上	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0	
17	長尾剛志	2.0	円外																							
18	森長翔	3.5	上	×	0	0	0	0	0	1	0	1														
コーチ	田中春香				—	—	—	—					コーチ	山野明				—	—	—	—					
合計					32	16	0	0	3	2	1	1	合計					60	28	0	4	1	2	1	1	

主審	木村由貴子	副審	高木順一	副審	鈴木賢治	記録者	丹羽瑛理子
----	-------	----	------	----	------	-----	-------

戦評 山

1Q、ダンク岡山ボールからスタートし、#7のシュートイン、そのままダンク岡山のプレスで#14のスティール、#7連続ゴール、博多パトラッシュ早い切り換えから、円外キャプテン、占部#6がシュートを決め、反撃、ダンク岡山プレスするも、博多パトラッシュ#4の連続、速効の上シュートが決まる。ダンク岡山リードのまま1回目のタイムアウト、後、リズムが良くなり、連続ポイントで、6点リード、博多パトラッシュのディフェンスが効き、14-12でダンク岡山リードのまま終了。

2Q、博多パトラッシュ、連続3ゴールでリードするも、ダンク岡山のプレスが効き、円内のシュートが決まる。博多たまたまタイムアウトをとるも、岡山#14の上シュートが連続で決まり、なかなかリズムをつかめず、28-25のダンク岡山3点リードで前半を終了。

3Q、両チーム、ハイポインターを起点に、円内にパスをするが、なかなか得点にならない。ダンク岡山メンバーチェンジをし、流れをつかみたいところだが、博多パトラッシュ#4のスピードが増し、博多この試合初めての2ケタリードをする。

4Q、ダンク岡山、激しいディフェンスから速攻につなげるが、シュートが決まらない。一方、博多パトラッシュは時間をゆっくり使い、確実に上シュートを決めていき、後半、博多パトラッシュのペースで60-36で博多パトラッシュ、一回戦を勝ち上がる。

<チーム名>

A2

京都サンクロウズ

61

18	1P	8
12	2P	8
17	3P	12
14	4P	12
延長		

<チーム名>

40

太陽の家ブレイクーズ

【1回戦】

京都サンクロウズ											太陽の家ブレイクーズ																						
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル											
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P								
4	喜賀大輔	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	相模政信	2.0	円外	⊗	6	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥	江田祐紀	1.5	円内	⊗	8	4	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	杉岡奉一	4.0	上	⊗	24	12	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	鳳崎泰治	1.5	円内	⊗	7	3	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10	山中泰紀	1.0	円内																														
12	松岡幸夫	2.0	円外	⊗	16	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
14	福西義信	1.5	円内		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コーチ	坂田 耕平				—	—	—	—																									
	合計				61	29	0	3	3	1	0	3																					
コーチ	黒沢 忠己				—	—	—	—																									
	合計				40	20	0	0	0	4	1	3	1																				

主審	高橋 洋一	副審	五十里 幸治	副審	松山 克洋	記録者	山下 真由
----	-------	----	--------	----	-------	-----	-------

戦評

- 1Q、京都サンクロウズ、ボールでスタート。互いにディフェンスがよく2分間得点なし。先制は大分ブレイクーズ#7折林。大分は、折林からの連携でゲームを組み立てていく。京都も#7杉岡を軸に攻撃を展開し、自らもバスケットカウントを取り、両社一步もゆうらず均衡したまま時間がすぎてゆく。残り3分を過ぎた辺りから京都がペースをつかみ、#7杉岡 #12松岡のパス回しから着実に得点を重ねていき、18-8で京都の10点リードで第1クォーター終了。
- 2Q、京都のきびしいディフェンスの中、大分#9松永の連続ゴールで追い上げを見せるが、京都も#7杉岡の連続得点、スティールからの得点で一進一退の攻防が続き、30-16で京都の14点リードで前半終了。
- 3Q、京都は#7杉岡と#12松岡を軸にオフENSEを展開して、#6江田と#8鳳崎の円内シューターが得点を重ねてゆく。大分は京都のきびしいディフェンスにあい、苦しいシュートが続き、ゴールをうばえない状況がつづき、残り4分で点差は20点まで広がっていった。大分は3分半でメンバーチェンジを行い#15折林を投入するが流れを変えることができず47-28で3Q終了。
- 4Q、大分は#15折林を中心にオフENSEを組み立てていき、得点してゆくが、オフENSE、ディフェンスの両面で上回る京都を攻略することができず、点差が開いたまま時間が過ぎてゆく。そのままの状態がつづき、61-40で京都が勝利した。

〈チーム名〉		21 1P 10 27 2P 4 30 3P 4 25 4P 16 延長					〈チーム名〉		
B2	千葉ピーナッツ						103	34	リベラル仙台BBT
【1回戦】									

千葉ピーナッツ												リベラル仙台BBT													
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル			
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							1P	2P	3P	4P			
4	鈴木武博	1.5	円内	⊗	10	5	0	0	0	0	0	0	④	中山健孝	3.5	上	⊗	2	1	0	0	1	0	0	0
5	工藤慎悦	1.5	円内	×	2	1	0	0	0	0	0	0	5	石川和昭	1.5	円内	⊗	18	9	0	0	0	0	0	0
6	鵜秀作	1.5	円内	⊗	7	3	0	1	0	0	0	0	6	小野正人	3.0	上	×	0	0	0	0	0	0	0	0
7	菅原悟	1.5	円内	×	16	8	0	0	0	0	0	0	8	岩間恒彦	3.0	上	⊗	8	4	0	0	0	1	0	1
8	前島智和	1.0	円内	×	0	0	0	0	0	0	0	0	9	山田清孝	2.5	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	1
9	白石純也	1.5	円内	×	8	4	0	0	0	0	1	0	10	角川義彦	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0
10	山田裕之	3.0	上										11	片倉晃	3.5	上	×	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪	野本洋輔	3.0	上	⊗	31	15	0	1	0	1	1	0	12	佐藤弘太	2.0	円外	⊗	0	0	0	0	2	0	0	0
12	松田誠	2.0	円外	⊗	12	6	0	0	2	0	1	0	13	大槻将道	1.5	円内	⊗	6	3	0	0	0	1	0	0
13	木内均	3.5	上	⊗	14	7	0	0	0	0	0	0													
14	今井友明	2.5	円外	×	3	1	0	1	0	0	0	0													
コーチ		野本洋輔			—	—	—	—					コーチ	水田靖士			—	—	—	—					
合計					103	50	0	3	2	1	3	0	合計					34	17	0	0	3	2	0	2

主審	衣笠厚	副審	真田優一	副審	佐藤いづみ	記録者	山北彩奈
----	-----	----	------	----	-------	-----	------

戦評

1Q、リベラル仙台ボールからスタート。序盤から両チームミスが目立つ。両チームとも、早い展開から速攻で点を重ねていく。終盤、千葉ピーナッツ#11野本#13木内らの速攻が決まり、徐々に点差をつけていく。仙台#5石川のブザービーターが決まるも、21-10で千葉11点リードで第1Q終了。

2Q、千葉の激しいオールコートディフェンスに仙台はなかなか攻めきれない。千葉はターンオーバーからの#11木内の速攻や#5工藤の円内シュートを確実に決め、さらに点差が広がり、48-14で34点千葉リード。

3Q、仙台はメンバーチェンジで流れを変えようとするが、千葉のオールコートディフェンスをなかなか突破できない。千葉は円内の確実なシュートで点を積み重ねていく。78-18で第3Q終了。

4Q、同じような展開が続く。仙台は#5石川の連続シュートで反撃するも、終始、千葉ペースで103-34で千葉の圧勝。

ワールドB.B.C	加藤直生 藤中久雄
-----------	--------------

C2

<チーム名>

岐阜エクスプレス

41

10	1P	22
12	2P	19
11	3P	12
8	4P	21
延長		

74

<チーム名>

神奈川ジャンクス

【1回戦】

岐阜エクスプレス											神奈川ジャンクス															
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P	
5	田中孝佳	2.5	円外	⊗	13	6	0	1	1	0	1	3	6	新中正司	4.0	上	×	0	0	0	0	0	1	0	0	
8	山城賢	4.0	上	×	2	1	0	0	0	0	0	0	7	吉村潤二	3.0	上	×	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑨	山田譲	2.0	円外										9	相原功	1.5	円内										
10	田中光二	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	10	斉藤忠明	2.0	円外										
12	大石武司	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	11	田邊耕一	1.5	円内	⊗	17	8	0	1	0	0	0	2	
14	斉藤誠	1.5	円内										⑫	深澤康弘	1.5	円内	⊗	18	9	0	0	2	0	0	0	
15	小川英也	3.5	上	×	8	4	0	0	2	0	1	1	13	山口貴久	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	鈴木健一	1.0	円内										14	佐々木操	3.5	上	⊗	12	5	0	2	0	0	0	0	
18	服部和弘	2.0	円外	⊗	8	4	0	0	0	0	0	0	16	山崎郁磨	3.5	上	⊗	6	3	0	0	0	0	0	0	
19	三好宏和	2.0	円内	⊗	10	5	0	0	0	0	0	2	17	岸本雅樹	1.5	円内	⊗	13	6	0	1	0	1	0	0	
20	山谷潤	1.0	円内	×	0	0	0	0	0	1	1	0	18	高橋正弘	3.0	上	×	8	4	0	0	0	0	2	0	
21	平田新次	1.5	円内										19	川瀬雄介	4.0	上										
コーチ	板部 主計				—	—	—	—					コーチ	石守 恒一郎				—	—	—	—					
合計					41	20	0	1	3	1	3	6	合計					74	35	0	4	2	2	2	2	

主審	伊藤 光夫	副審	千葉 信夫	副審	小池 匡弥	記録者	浅田 美沙希
----	-------	----	-------	----	-------	-----	--------

戦評

- 1Q、神奈川ジャンクスボールでスタート、#17円内シュートを決める。その後もスピードと速いパス回しで得点を重ね12-4になった所で、岐阜エクスプレス1回目のタイムアウト。フロントコートまでボール運びに苦戦する岐阜ではあるが#5田中を中心にオフェンスのコントロールをする。しかし、円内まで行けずシュートにつながらない。22-10で第1Q終了。
- 2Q、スピードのある神奈川は確実に上シュートで得点を決めていく。岐阜の#5田中と#18服部で連続ポイントするが、そのあと、神奈川に6連続で決められてしまう。前半、神奈川のペースで41-22でリードする。前半終了。
- 3Q、開始直後、岐阜の#5田中と#19三好の連続ポイントで点差をつめるが、神奈川もディフェンスを強め、スピードをいかして確実に得点を重ねていく。53-33で第3Q終了。
- 4Q、最終Qに入っても神奈川の猛攻は止まらず#14佐々木と#11田邊で得点を重ねて差を広げていくが、岐阜も#5田中と#15小川を中心に攻めていくも、神奈川のディフェンスの前で円内まで行けずシュートにつながらない。終始神奈川ペースで74-41でゲーム終了。

(チーム名) A3	沖縄フェニックス	71	(18 1P 12) (17 2P 9) (19 3P 14) (17 4P 8) 延長	43	(チーム名) Horsetail
【2回戦】					

沖縄フェニックス										Horsetail																
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P	
8	比嘉信明	1.5	円内	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	當間貴志	1.5	円内	⊗	22	11	0	0	1	0	1	0	⑤	小田勇人	1.5	円内	⊗	16	7	0	2	1	0	0	2	
11	上間喜昭	3.0	上	×	2	1	0	0	0	0	0	1	7	井田雄一朗	2.0	円内										
12	仲根建作	3.0	上										8	関谷和男	2.5	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑬	山川淳二	2.0	円外	⊗	9	4	0	1	0	0	0	0	9	成毛裕継	3.5	上	⊗	5	2	0	1	1	2	1	1	
14	洲鎌敏美	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0	10	神山浩二	3.0	上	⊗	12	6	0	0	0	2	0	0	
16	仲里進	4.0	上	⊗	14	7	0	0	1	0	1	0	12	池田恭至	2.0	円外										
17	玉城敦司	1.0	円内										13	渡辺豪紀	4.0	上	×	0	0	0	0	0	0	0	1	
19	内間寿正	3.0	円外	⊗	2	1	0	0	1	0	0	1	14	佐藤喜昭	3.0	円外	×	2	1	0	0	0	0	0	0	
20	牧志務	1.5	円内										15	茅根久	1.0	円内	⊗	2	1	0	0	0	0	1	0	
21	大城一志	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	1	2	0	16	滝沢晃司	3.0	上										
22	砂川昭人	4.0	上	×	22	10	0	2	0	1	1	0	17	河野俊介	2.5	円外	⊗	6	0	0	0	0	0	0	1	
コーチ	神里和彦				—	—	—	—					コーチ	水田靖士				—	—	—	—					
合計					71	34	0	3	3	2	5	2	合計					43	17	0	3	2	4	2	5	

主審	松元健				副審	泉谷義明				副審	鈴木賢治				記録者	天羽尚			
----	-----	--	--	--	----	------	--	--	--	----	------	--	--	--	-----	-----	--	--	--

戦評

1Q、
両チームともスタートからオールコートマンツゥで始まる。沖縄フェニックス#16のシュートから始まり、残り3分くらいまでお互いに点の取り合い14-10。残り2分、沖縄#16がファウル2回で#22と交代。きびしいディフェンスをかいくぐった沖縄が点を入れ、18-12。リードで第1Qが終わる。

2Q、
沖縄が#22の得点からスタート。お互いオールコートのディフェンスを仕掛けるが、沖縄#22を止めることができず、ランニングシュートを許す展開になる。ホーステールは#5の円内シュートで追いすがすが、沖縄のディフェンスに、思うようなオフェンスが出来ず35-21。沖縄リード。

3Q、
出足、ホーステールのディフェンスが機能し始めて、点差を41-30と縮める。残り6分で沖縄がタイムアウトを取る。タイムアウト後、沖縄#16の2連続シュートで点を取り戻し、ホーステール、タイムアウトを取るのが流れを掴めず、沖縄#16に得点されるが、ホーステールの3連続シュートで流れを取り戻す。しかし残り1分半、沖縄#22のスティールから3連続シュートを決め、54-35で第3Qを終える。

4Q、
沖縄のディフェンスが機能して、食い下がるホーステールを更に追い詰め、71-43と差を広げてゲーム終了。終始沖縄#16, 22を交代させながら、リードしながらのゲーム運びで、昨年度優勝チームが準決勝に進んだ。

ワールドB.B.C	白丸大島
-----------	------

C3	(チーム名)	52	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1P</td><td>10</td></tr> <tr><td>14</td><td>2P</td><td>12</td></tr> <tr><td>12</td><td>3P</td><td>13</td></tr> <tr><td>10</td><td>4P</td><td>10</td></tr> <tr><td colspan="3">延長</td></tr> </table>	16	1P	10	14	2P	12	12	3P	13	10	4P	10	延長			45	(チーム名)
	16			1P	10															
	14			2P	12															
	12			3P	13															
10	4P	10																		
延長																				
KINGS	博多パトラッシュ																			
【2回戦】																				

KINGS											博多パトラッシュ																
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル					
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P		
6	橘田明洋	3.0	上											4	堀貴志	4.0	上	⊗	21	10	0	1	0	0	1	0	
⑦	金村茂治	1.0	円内	⊗	2	1	0	0	1	0	0	0	5	内藤充昭	1.0	円内											
8	澤田公則	1.5	円内										⑥	占部誠	2.5	円外	⊗	4	2	0	0	2	0	1	0		
10	安江一家	2.5	円外	⊗	13	6	0	1	0	1	0	0	7	眞子武臣	1.0	円内											
11	荒川和己	3.0	上										8	岡田正義	1.5	円内											
12	田中祐嗣	3.5	円外	⊗	8	4	0	0	0	0	1	0	9	池松清治	3.0	円外	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15	宇野貴宏	3.0	円外	⊗	12	6	0	0	0	1	0	0	10	宗高弘	1.5	円内											
16	末続豊樹	1.5	円内	⊗	17	8	0	1	0	0	0	1	13	久野修平	1.0	円内	⊗	2	1	0	0	1	1	0	1		
17	平野幸子	1.5	円内										15	坂下和仁	1.0	円内	⊗	16	7	0	2	0	0	1	1		
													17	猪谷有史	3.0	上	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
コーチ	杉浦寿信				—	—	—	—					コーチ	山野明				—	—	—	—						
	合計				52	25	0	2	1	2	1	1		合計				45	21	0	3	3	1	3	2		

主審	門川浩人	副審	矢田憲幸	副審	玉井聡	記録者	石川瑠音
----	------	----	------	----	-----	-----	------

戦評

1Q、
KINGSボールから始まり、#16末続の連続ゴールで、出だしの勢いがつく。得点が欲しい博多は、#4堀のスピードを生かした速攻で点差を縮め始める。KINGSのオフェンスは#10安江、#15宇野、円内の#16末続が得点を重ね、対する博多パトラッシュは#4堀のスピードで得点を重ね、一進一退の攻防が続き、16-10、KINGSが6点リードで第1Qを終了。

2Q、
第2Qに入り、#4堀を中心に#9池松のシュートなどで追い上げを見せる。残り4分#15宇野が#4堀につき、ボールをゴール下まで運ぶことができなくなる。逆にKINGSは#15宇野、#10安江の連続ゴールで流れをつかみ始める。2Qの流れをつかんだKINGSは着実にチャンスをものにし、30-22、KINGS 8点リードで前半を折り返した。

3Q、
3Qに入り、両チームイーजीミスが続き点数が動かない。先に切り出したのは博多パトラッシュ。#4堀の連続ゴールにより、第2Qスタートと同じように追い上げ、逆転をする。対するKINGSは#15宇野の連続ゴール、連携プレイでゴールを重ね、再度逆転し、緊迫した試合運びになる。両チームとも更に得点を重ね、42-35 KINGSリードで第3Qが終わった。

4Q、
両チーム一步も引けない攻防が続く。博多パトラッシュは#4堀から#13久野、#15坂下のゴールで追い上げ、KINGSは#10安江が連続得点、#12田中の得点で突き放し、52-45でKINGSが準決勝に駒を進めた。

ワールドB.B.C	林・安藤
-----------	------

(チーム名) (チーム名)

A4 京都サンクロウズ 42

12	1P	16
10	2P	18
10	3P	14
10	4P	13
延長		

 61 千葉ピーナッツ

【2回戦】

京都サンクロウズ											千葉ピーナッツ															
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P	
4	喜賀大輔	2.0	円外	×	2	1	0	0	0	1	0	1	4	鈴木武博	1.5	円内	⊗	10	5	0	0	0	0	0	0	
5	相模政信	2.0	円外	⊗	2	1	0	0	2	0	1	1	5	工藤慎悦	1.5	円内										
⑥	江田祐紀	1.5	円内	⊗	12	6	0	0	1	0	1	0	6	鴫秀作	1.5	円内	⊗	16	8	0	0	0	2	1	0	
7	杉岡奉一	4.0	上	⊗	8	4	0	0	0	1	0	2	7	菅原悟	1.5	円内	×	2	1	0	0	0	0	0	0	
8	鳳崎泰治	1.5	円内	⊗	16	7	0	2	0	1	0	1	8	前島智和	1.0	円内										
10	山中泰紀	1.0	円内										9	白石純也	1.5	円内										
12	松岡幸夫	2.0	円外	⊗	2	1	0	0	0	1	0	1	10	山田裕之	3.0	上										
14	福西義信	1.5	円内										⑪	野本洋輔	3.0	上	⊗	19	9	0	1	0	0	0	0	
													12	松田誠	2.0	円外	⊗	10	5	0	0	1	1	1	1	
													13	木内均	3.5	上	⊗	4	2	0	0	1	0	0	0	
													14	今井友明	2.5	円外	×	0	0	0	0	0	0	1	0	
コーチ	坂田 耕平				—	—	—	—					コーチ	野本 洋輔				—	—	—	—					
合計					42	20	0	2	3	4	2	6	合計					61	30	0	1	2	3	3	1	

主審	増田 和茂	副審	伊藤 光夫	副審	衣笠 厚	記録者	丹波 瑛理子
----	-------	----	-------	----	------	-----	--------

戦評

1Q、
京都 #8鳳崎の円内シュートが先制点。どちらもオールコートディフェンスで流れを作ろうとするが、千葉は#11野本 #13木内の上シューター二人にボールを集め得点。対する京都は#6江田 #8鳳崎の円内シュートで得点していく。第1Qは16-12で千葉リードで終了。

2Q、
両チーム共に、一進一退の攻防が続くが、中盤以降千葉のきびしいオールコートディフェンスに京都のミスがでてくる。千葉はイーージーシュートを確実に決め、点差を広げて、34-22で前半を終わる。

3Q、
第3Qも千葉のきびしいディフェンスに京都は決め手がなく、千葉は円内、円外、上とバランスよくフリーのシュートを決めていき、徐々に点差も広がってくる。48-32で3Qを終わる。

4Q、
千葉はディフェンスからの早い展開で得点。京都は円内が走っていて、円内で得点していく。京都はディフェンスでプレッシャーを強くして追いつこうとするが流れが変わらず、タイムアップ。61-42で千葉がベスト4へ進出を決めた。

ワールドB.B.C	竹中 加藤
-----------	-------

		(チーム名)					<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> C4 神奈川ジャンクス 70 </div> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr><td>15</td><td>1P</td><td>13</td></tr> <tr><td>21</td><td>2P</td><td>19</td></tr> <tr><td>10</td><td>3P</td><td>16</td></tr> <tr><td>24</td><td>4P</td><td>8</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">延長</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> 56 キャロッツ </div> </div>						15	1P	13	21	2P	19	10	3P	16	24	4P	8	延長			(チーム名)						
15	1P	13																																
21	2P	19																																
10	3P	16																																
24	4P	8																																
延長																																		
【2回戦】																																		
神奈川ジャンクス											キャロッツ																							
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル												
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P									
6	新中正司	4.0	上																		4	今井義隆	3.0	上	⊗	4	2	0	0	1	0	0	1	
7	吉村潤二	3.0	上																		⑥	濱野健二	3.0	上	⊗	4	2	0	0	0	0	0	0	
9	相原功	1.5	円内																		8	笠原信彦	1.5	円内	×	12	6	0	0	0	1	0	0	
10	斉藤忠明	2.0	円外																		9	鳩岡登	3.0	上										
11	田邊耕一	1.5	円内	⊗	13	6	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	桜井宏樹	2.0	円外	⊗	17	8	0	1	0	1	0	0	
⑫	深澤康弘	1.5	円内	⊗	20	10	0	0	1	1	0	1									12	藤本伸一	1.5	円内										
13	山口貴久	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0									14	福井茂夫	1.5	円内										
14	佐々木操	3.5	上	⊗	16	8	0	0	1	0	1	0									15	高砂幸蔵	2.0	円内	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0	0
16	山崎郁磨	3.5	上	⊗	10	5	0	0	1	0	0	0									16	草間智	1.5	円内	⊗	17	6	0	5	0	1	1	0	
17	岸本雅樹	1.5	円内	⊗	7	2	0	3	0	1	2	0									18	赤井俊之	3.5	上										
18	高橋正弘	3.0	上	×	4	2	0	0	0	0	0	0									19	松山剛大	1.5	円内										
19	川瀬雄介	4.0	上																															
コーチ		石 守 恒 一 郎				—	—	—	—					コーチ		中 越 竜 馬				—	—	—	—											
合 計					70	33	0	4	6	2	3	1	合 計					56	25	0	6	1	3	1	1									
主 審	真 田 優 一				副 審	松 山 克 洋				副 審	五 十 里 幸 治				記 録 者	山 北 彩 奈																		
戦 評																																		
<p>1Q、 神奈川ボールで始まり、神奈川#12で先制し、キャロッツも#4のシュートで同点。両チームともスピードを活かしプレイを展開し、一進一退のゲーム展開になり15-13の神奈川リードで第1Q終了。</p> <p>2Q、 神奈川#14と#16の連続ポイントで点差を広げようとするが、キャロッツも負けじと#10の連続ポイントで差をつめる。両方一步も譲らず、試合が進んでいき、第2Q終了間際、キャロッツ#6で同点シュートをねらうが、これがはずれ神奈川#14の速攻の得点により36-32神奈川リードで第2Q終了。</p> <p>3Q、 点差を広げようとする神奈川が、キャロッツの激しいディフェンスの前でなかなか得点ができない。キャロッツは#4と#10のオフェンスコントロールで得点を重ね、この試合初めてリードし最終Qに突入する。</p> <p>4Q、 開始早々、神奈川#11と#14の連続得点にて再び神奈川リードを奪う。これを機に神奈川のディフェンスが良くなり、キャロッツがボールをフロントコートまで運べず失点が続き、神奈川が70-56でゲーム終了。</p>																																		
										ワールドB.B.C				早 稲 田																				

A5		〈チーム名〉		66					40			KINGS		〈チーム名〉	
		沖縄フェニックス													
【準決勝】															

沖縄フェニックス													KINGS													
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P	
8	比嘉信明	1.5	円内										6	橋田明洋	3.0	上										
10	當間貴志	1.5	円内	⊗	19	9	0	1	0	1	0	0	⑦	金村茂治	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	1	0	2	
11	上間喜昭	3.0	上	×	0	0	0	0	0	0	0	0	8	澤田公則	1.5	円内										
12	仲根建作	3.0	上										10	安江一家	2.5	円外	⊗	8	4	0	0	2	1	0	0	
⑬	山川淳二	2.0	円外	⊗	4	2	0	0	1	0	0	0	11	荒川和己	3.0	上										
14	洲鎌敏美	2.0	円外										12	田中祐嗣	3.5	円外	⊗	10	5	0	0	3	0	0	1	
16	仲里進	4.0	上	×	10	5	0	0	0	0	2	0	15	宇野貴宏	3.0	円外	⊗	12	6	0	0	0	1	2	0	
17	玉城敦司	1.0	円内	×	0	0	0	0	0	0	0	0	16	末続豊樹	1.5	円内	⊗	10	5	0	0	0	1	1	1	
19	内間寿正	3.0	円外	⊗	0	0	0	0	0	1	2	0	17	平野幸子	1.5	円内	×	0	0	0	0	0	0	0	0	
20	牧志務	1.5	円内																							
21	大城一志	1.0	円内	⊗	2	1	0	0	0	0	0	1														
22	砂川昭人	4.0	上	⊗	31	15	0	1	0	1	1	0														
コーチ		神里和彦			—	—	—	—					コーチ		杉浦寿信			—	—	—	—					
合計					66	32	0	2	1	3	5	1	合計					40	20	0	0	5	4	3	4	

主審	増田和茂	副審	高橋洋一	副審	長島英司	記録者	山下真由
----	------	----	------	----	------	-----	------

戦評

1Q、第1Q、両チームともオールコートマンツーマンからゲームが始まる。立ち上がり互いの厳しいディフェンスを掻い潜り点の取り合いになる。5分過ぎた所で沖縄#22#13の連続得点で沖縄が10-6でリードしたところでKINGSタイムアウト。タイムアウト後互いに一進一退になるが、KINGS#12ファウル3回となるが16-17で沖縄1点リードで終わる。

2Q、第2Qに入り両チームとも流れがつかめないうま3分経過した所で、沖縄が#16から#22に交代してリズムを変えようとした。その交代が見事の中し、沖縄#21#22の3連続シュートで18-25とリードを広げた所でKINGSタイムアウトをとる。タイムアウト後流れ変わらず沖縄#10の連続得点で18-29になる。その後ようやくKINGS#15のシュートが決まる。その後も沖縄#10#22が得点を重ね22-37で沖縄が得点差を広げて前半を終わる。

3Q、第3Q得点差を詰めたKINGSはディフェンスを頑張るが沖縄#13#16に点数を取られ、22-41。しかし、3分半経過した所でようやくKINGS#10のシュートが決まりお互いに流れがつかめないうま沖縄タイムアウトを取る。タイムアウト後逆にKINGSに流れが行き30-43と得点差を縮める。しかし、のこり3分で沖縄#16から#22に交代してKINGS#10の2得点に対して沖縄#10の4得点と#22の6得点と沖縄がリズムをつかだんままさらに点差をつけて53-32で終わる

4Q、追い上げたいKINGS#10のシュートが決まり、さらに得点を重ねたいKINGSだが沖縄の厳しいディフェンスの前に中々点差が縮まらない。一方沖縄#16#22がKINGSのディフェンスを掻い潜り、いいタイミングで円内#10にパスを送り、得点を伸ばし40-66沖縄が勝利した。3連覇を目指す沖縄に対して、第1Q善戦したKINGSだったが、第2Q中盤での3分間無得点に対し沖縄が10点と差を広げられた所から、苦しい展開となっていった。一方沖縄は、#16と#22が自分で得点を取るプレーや円内への正確なパスで終始リードしながらの展開で、さすが王者という試合だった。

C5	(チーム名) 神奈川ジャンクス	66	(18 1P 12) (14 2P 22) (16 3P 11) (18 4P 14) 延長	59	(チーム名) 千葉ピーナッツ
【準決勝】					

神奈川ジャンクス											千葉ピーナッツ																													
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル																		
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P															
6	新中正司	4.0	上																																					
7	吉村潤二	3.0	上																																					
9	相原功	1.5	円内																																					
10	斉藤忠明	2.0	円外																																					
11	田邊耕一	1.5	円内	⊗	14	7	0	0	2	0	0	1																												
⑫	深澤康弘	1.5	円内	⊗	12	4	0	4	0	0	0																													
13	山口貴久	2.0	円外	×	6	3	0	0	0	0	1	0																												
14	佐々木操	3.5	上	⊗	18	9	0	0	0	3	0	0																												
16	山崎郁磨	3.5	上	⊗	4	2	0	0	0	1	0	0																												
17	岸本雅樹	1.5	円内	⊗	10	5	0	0	0	0	0	0																												
18	高橋正弘	3.0	上	×	2	1	0	0	0	0	1	0																												
19	川瀬雄介	4.0	上																																					
コーチ	石 守 恒 一 郎				—	—	—	—					コーチ	野 本 洋 輔				—	—	—	—																			
合 計					66	31	0	4	2	4	2	1	合 計					59	26	0	7	2	1	1	4															

主 審	伊 藤 光 夫	副 審	真 田 優 一	副 審	五 十 里 幸 治	記 録 者	山 北 彩 奈
-----	---------	-----	---------	-----	-----------	-------	---------

戦 評

1Q、ジャンクスボールで試合開始。両チーム厳しいディフェンスで、どちらも主導権を握れない中、ジャンクスが円内にボールを集め、得点していく。早めのタイムアウトをピーナッツが取り、一時は流れをつかみかけるも12-18でジャンクスリード。

2Q、ピーナッツは積極的なディフェンスからリズムを作り出し、#11野本を中心とした速いボール運びからの連続シュートで最大8点のリード。ジャンクスはたまたまタイムアウトを取り、ピーナッツの速い展開に対応するため、#13山口、#18高橋を投入し、点差を縮めるも、34-32でピーナッツ優位で前半終了。

3Q、後半スタートするも、両チーム、流れを引き寄せられない時間帯が続く。ピーナッツ#6鴫の円内シュートで得点するも、ジャンクスも#11田邊、#12深澤の円内に確実にボールを集め、得点を重ねる。どちらも、一進一退の攻防が続く、48-45で第3Qが終了。

4Q、ピーナッツは#11野本、#13木内を中心に追いつきを図るが、ジャンクスの厳しいディフェンスにより、思うようにプレーが出来ない。一方ジャンクスは、やはり円内にポジションを取る選手にボールを集め、徐々に得点差を広げていく。準決勝ともあり、緊張したゲーム展開の中、両チーム持ち味を出し、一時はリードを奪うものの、終盤、円内シュートを中心としたオフェンスを見せたジャンクスが決勝にコマを進めた。

大阪グッパーズ															太陽の家ブレイカーズ																					
大阪グッパーズ															太陽の家ブレイカーズ																					
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル														
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P											
4	松宮正直	2.0	円内	⊗	20	9	0	2	0	2	1	0	6	池田正行	2.0	円内																				
5	村上匡司	2.0	円外										⑦	折林恭一	3.5	円外	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	萩家嘉弘	1.0	円内										8	河原畑純	1.5	円内	×	4	2	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
7	尾崎一久	2.5	円外										9	松永俊一	2.5	円外	⊗	8	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	内堀貴弘	1.0	円内										12	松森宏人	1.0	円内	⊗	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	柳楽充	1.0	円内	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0	13	曾川稔	1.5	円内	⊗	6	3	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
10	吉野真旨	3.5	上	⊗	18	9	0	0	0	1	0	0	15	折林香代子	4.0	上																				
11	楠本成一	2.0	円内	⊗	7	3	0	1	0	1	0	0	17	三浦貴士	2.0	円外	⊗	2	1	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
12	石本恵一	4.0	上										18	五反田法行	1.0	円内	×	7	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬	梶本佳史	3.0	上	⊗	4	2	0	0	0	0	0	0	19	塩田健智	2.0	円外																				
コーチ		吉野由佳里			—	—	—	—						コーチ		黒沢忠巳			—	—	—	—														
合計					51	24	0	3	0	4	1	0	合計					31	14	0	3	1	1	4	2											
主審	泉谷義明				副審	小泉純子				副審	玉井聡				記録者	石川瑠音																				
戦評																																				
<p>1Q、大阪グッパーズ#11楠本の円内シュートで先制点。試合が動く。ブレイカーズ#12松森で同点となる。序盤、両チームともボール回しが速くシュートまで行くが得点に繋がらず。しかし、次第に大阪グッパーズの#4松宮の円内連続得点で差をひろげた。残り1分の所でブレイカーズ#12松森が得点をあげ第1Q 16-6で大阪グッパーズのリード。ミスマッチになる事があるためどうディフェンスするかがブレイカーズの鍵である。</p> <p>2Q、ブレイカーズのパスミスでグッパーズ速攻。円内#4松宮のシュートが決まる。ディフェンスが良くなってきたグッパーズ。ブレイカーズのミスが続きグッパーズの連続ポイントで22-6と差をひろげていく。グッパーズ#10吉野のスピードが冴えわたる。一方ブレイカーズ#9松永もボールコントロールとシュートを決める。24-11でまずブレイカーズがタイムアウトをとる。タイムアウト後#9松永が得点、リズムが良くなってきたブレイカーズ。#18五反田がシュートファウルをもらいフリースローを決め得点を重ねるが28-17でグッパーズリードで前半終了。</p> <p>3Q、グッパーズ攻撃から始まる。#13梶本から円内#4松宮へのパス、シュートファウルをもらい、フリースロー1本を決める。ブレイカーズもすかさず円内#13曾川が得点。グッパーズ#10吉野のレイアップシュートと円内へのパスでゲームコントロールをし、得点差を広げていく。ブレイカーズも#9松永を中心に円内パスで追い上げるが#10吉野の確実な上シュートもあり42-25グッパーズリード。</p> <p>4Q、ブレイカーズは円内・円外のプレイヤーではあるが、コートを広く使い5人でボールを運んでいくが、シュートが決まらず逆にグッパーズ#10吉野のスピード・スキルでボール運び、円内#4松宮へのパス・シュートが決まっていく。試合残り1分、リードしているグッパーズがタイムアウト。そしてゲームセットとなる。51-33大阪グッパーズが勝利した。オープン戦は1Q、8分で行われたが両チーム、コートを広く使い運動量が多く、白熱したゲームであった。</p>																																				
ワールドB.B.C															長谷川・大島																					

(チーム名) A6	ロス・キホーテス	37	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>6</td><td>1P</td><td>15</td></tr> <tr><td>4</td><td>2P</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>3P</td><td>10</td></tr> <tr><td>12</td><td>4P</td><td>16</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">延長</td></tr> </table>	6	1P	15	4	2P	18	15	3P	10	12	4P	16	延長			59	(チーム名) 岐阜エクスプレス
6	1P	15																		
4	2P	18																		
15	3P	10																		
12	4P	16																		
延長																				
【オープン戦】																				

ロス・キホーテス											岐阜エクスプレス														
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル			
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P
4	甲州知宏	2.0	円外	⊗	8	4	0	0	0	1	0	0	5	田中孝佳	2.5	円外	⊗	6	3	0	0	1	0	2	0
5	齋場辰己	3.5	上	×	13	6	0	1	0	0	1	0	8	山城賢	4.0	上	×	6	3	0	0	2	0	1	1
6	若槻茂憲	3.0	円外										⑨	山田譲	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0
8	増田吉秀	1.5	円内	⊗	8	4	0	0	0	0	0	0	10	田中光二	1.0	円内	×	0	0	0	0	0	0	0	0
9	加藤健裕	1.5	円内	⊗	4	2	0	0	1	0	0	1	12	大石武司	1.0	円内	×	2	1	0	0	0	0	0	0
⑫	澤木謙太郎	3.0	上	×	4	2	0	0	0	0	0	1	14	斉藤誠	1.5	円内									
14	佐野健一	3.5	上	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	15	小川英也	3.5	上	⊗	12	6	0	0	0	0	1	0
15	岸光太郎	1.5	円内										16	鈴木健一	1.0	円内									
16	菊池宏明	3.0	上	⊗	0	0	0	0	1	0	0	0	18	服部和弘	2.0	円外	⊗	14	7	0	0	1	0	0	0
													19	三好宏和	2.0	円内	⊗	13	6	0	1	1	0	0	0
													20	山谷潤	1.0	円内	⊗	6	3	0	0	0	0	0	0
													21	平田新次	1.5	円内									
コーチ		上 良 弘			—	—	—	—					コーチ		板 部 主 計			—	—	—	—				
合 計					37	18	0	1	2	1	1	2	合 計					59	29	0	1	5	0	4	1

主 審	衣 笠 厚	副 審	松 山 克 洋	副 審	千 葉 信 夫	記 録 者	丹 羽 瑛 理 子
-----	-------	-----	---------	-----	---------	-------	-----------

戦 評

1Q、岐阜ボールスタート、先取点は#19三好のフリースロー。ロスキホーテスは、#14佐野がシュートを決め一進一退の攻防が続いた。岐阜はスティールからの#20山谷の得点で勢いが出始め、岐阜の得点が続く、ロスキホーテスはタイムアウトを取った。このタイムアウトでロスキホーテスは冷静さを取り戻すことができたが、差を縮めることが出来ず、15-6の岐阜9点リードで第1Q終了。

2Q、ロスキホーテスのボールで第2Qスタート。#12澤木がシュートを決める。岐阜は激しいディフェンスを仕掛ける。ロスキホーテスも#5齋場を中心にオフェンスを組み立てていく。対する岐阜は#15小川と#5田中を中心にオフェンスを組み立てていき、円内では#19三好が、円外からは#18服部がシュートを決め、岐阜のオフェンスの時間が長くなってリードを広げて行き、33-10とリードを23点に広げ第2Q終了。

3Q、前半は覇気がないロスキホーテスだったが、後半に入ってからディフェンスの声がよく出るようになった。お互いに、ディフェンスを頑張り、その流れからオフェンスのリズムをつかもうとしていた。ロスキホーテスは#5齋場のバスケットカウントで勢いにのるかと思われたが、岐阜は気持ちを切らさずプレーし、流れを渡さない。お互いにシュートを決め合い43-25で第3Q終了。

4Q、岐阜はロスキホーテスの#5齋場を徹底的にマークして、封じ込める作戦を講じるが、ロスキホーテス#5齋場は周りをうまく使い、岐阜のディフェンスを切り抜けていく。対する岐阜は#15小川を中心に円外と円内をバランスよく使い、得点をとっていった。ここでロスキホーテスはタイムアウトを取り、気持ちを切り換えプレーするが、前半に作られてしまったリードは大きく、縮めることが出来ず59-37で岐阜の勝利で試合終了。

(チーム名)		(チーム名)																
B6	リベラル仙台BBT	44	ダンク岡山															
【オープン戦】		<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>18</td><td>1P</td><td>9</td></tr> <tr><td>16</td><td>2P</td><td>10</td></tr> <tr><td>16</td><td>3P</td><td>12</td></tr> <tr><td>14</td><td>4P</td><td>13</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">延長</td></tr> </table>	18	1P	9	16	2P	10	16	3P	12	14	4P	13	延長			
18	1P	9																
16	2P	10																
16	3P	12																
14	4P	13																
延長																		

リベラル仙台BBT													ダンク岡山													
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P	
④	中山健孝	3.5	上	⊗	6	3	0	0	0	1	1	1	4	石戸大輔	3.0	円外	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0	
5	石川和昭	1.5	円内	⊗	28	11	0	6	0	0	0	0	5	山辺恵亮	1.0	円内	×	7	3	0	1	0	0	0	0	
6	小野正人	3.0	上										⑥	林大輔	4.0	上	×	2	1	0	0	0	1	0	0	
8	岩間恒彦	3.0	上	⊗	14	7	0	0	0	1	0	1	7	難波真澄	1.5	円内	⊗	13	6	0	1	2	2	0	0	
9	山田清孝	2.5	円外										8	信谷千鶴子	1.5	円内	⊗	8	4	0	0	0	0	0	0	
10	角川義彦	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0	9	木村和希	2.0	円外	×	8	4	0	0	0	0	0	0	
11	片倉晃	3.5	上										11	豊田弘道	3.0	上										
12	佐藤弘太	2.0	円外	⊗	4	2	0	0	1	0	0	0	12	宮地秀典	1.0	円内										
13	大槻将道	1.5	円内	⊗	6	3	0	0	0	0	1	1	14	稲田佳泰	3.0	上	×	2	1	0	0	0	1	1	0	
													15	中桐正治	2.5	円外										
													17	長尾剛志	2.0	円外	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0	
													18	森長翔	3.5	上	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0	
コーチ	高橋春信				—	—	—	—					コーチ	田中春香				—	—	—	—					
合計					58	26	0	6	1	2	2	3	合計					44	21	0	2	2	4	1	0	

主審	高木順一	副審	鈴木賢治	副審	佐藤いづみ	記録者	天羽尚
----	------	----	------	----	-------	-----	-----

戦評

1Q、仙台ボールでスタート。先制点は#5石川。円内でシュートファウルをもらい、フリースローを確実に2本決める。その後も円内で連続ゴール。岡山は仙台のディフェンスの前にボールがなかなか運べない。岡山は#9木村が仙台#5石川をボックスワンでディフェンスし、流れを作ろうとするが、点差が縮まらず18-7で仙台で11点リードで1Q終了。

2Q、岡山はメンバーチェンジで早い展開で攻め、点差を5点まで縮める。対する仙台は上、円外、円内とバランスよく得点していく。終盤、仙台はボールマンプレッシャーを強くして、ターンオーバーからのイージーシュートを決め、また点差を広げる。34-19で仙台リードで前半終了。

3Q、両チーム共に、早い展開からのオフェンスを目指す、決め手にかき、一進一退の攻防が続く。44-31で3Q終了。

4Q、岡山は仙台のディフェンスにボール運びを苦戦し、パスミスが目立つ仙台は上シューター#8岩間、#4中山の2人で得点を重ねていく。終盤、岡山も#4石戸の円外シュートで応戦するが及ばず、58-44で仙台の勝利。仙台は終始安定した、円内の得点リードを保ち、厳しいディフェンスで岡山に思うようなオフェンスをさせず、勝利を掴んだ。

ワールドB.B.C	竹中久雄 加藤直生
-----------	--------------

(チーム名) C6 キャロット 【オープン戦】	(チーム名) 21 Horsetail	37	14 1P 4 10 2P 5 5 3P 4 8 4P 8 延長	
---	---	----	--	--

キャロット											Horsetail														
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル			
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P
4	今井義隆	3.0	上	×	4	2	0	1	0	0	1	0	4	林一美	1.5	円内	⊗	0	0	0	2	0	1	1	0
⑥	濱野健二	3.0	上	⊗	0	0	0	1	0	1	0	0	⑤	小田勇人	1.5	円内	×	4	2	0	0	0	0	0	0
8	笠原信彦	1.5	円内	×	5	2	0	1	0	0	0	0	7	井田雄一朗	2.0	円内									
9	鳩岡登	3.0	上	⊗	6	3	0	4	0	1	1	2	8	関谷和男	2.5	円外	×	0	0	0	1	0	1	0	1
10	櫻井宏樹	2.0	円外	⊗	8	4	0	2	0	0	1	1	9	成毛裕継	3.5	上	⊗	2	1	0	2	1	0	0	0
12	藤本伸一	1.5	円内	⊗	4	2	0	0	0	0	0	0	10	神山浩二	3.0	上	×	6	2	0	2	0	0	0	1
14	福井茂夫	1.5	円内										12	池田恭至	2.0	円外	×	0	0	0	0	0	0	0	0
15	高砂幸蔵	2.0	円内	×	4	1	0	2	0	0	0	0	13	渡辺豪紀	4.0	上	×	2	1	0	0	0	0	0	0
16	草間智	1.5	円内	⊗	4	2	0	0	0	0	0	0	14	佐藤喜昭	3.0	円外	⊗	5	2	0	1	1	0	0	0
18	赤井俊之	3.5	上										15	茅根久	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	0	0	0	0
19	松山剛大			×	2	1	0	0	0	0	0	0	16	滝沢晃司	3.0	上	×	0	0	0	0	0	0	0	0
													17	河野俊介	2.5	円外	⊗	2	1	0	0	0	0	0	0
コーチ		中越竜馬			—	—	—	—					コーチ		水田靖士			—	—	—	—				
合計					37	17	0	11	0	2	3	3	合計					21	9	0	8	2	2	1	2

主審	小林輝久	副審	山田拓	副審	小池匡弥	記録者	浅田美沙希
----	------	----	-----	----	------	-----	-------

戦評

1Q、
 ホーステール#14の円外シュートで始まる。すかさずキャロット#16の円内シュートが決まり、ナイスディフェンスからスティール#10の円外シュートにより、連続ゴールとなる。キャロットのプレスにホーステールうまくボールを運ばず、パスミスが起き、キャロットの連続シュートで14-4で第1Qを終える。

2Q、
 第2Qが始まり、キャロットのはげしいディフェンスにホーステールはパスランでフロントコートに行くも、なかなかシュートが決まらない。キャロットの切り換えの早さにホーステールついていけず、キャロットは全員で得点を重ねていく。ラスト6秒でホーステール#14円外シュートを決め、24-9、第2Q終了。

3Q、
 第3Qに入ってもキャロットは#4のオフェンスコントロールで得点を重ねるが、ホーステールもディフェンスからオフェンスの早い切り替えで、連続得点をし差をつめる。ここから両チーム共得点チャンスはありましたが、前半の疲れからかシュートの確率が上がらないまま、27-13で第3Q終了。

4Q、
 第4Qに入り、キャロット#9と#15で連続得点し、差を広げるが、ホーステールも#5の得点で差を詰める。ここで追い上げたホーステールだが、キャロット#4と#9の3連続得点でこの試合最大の20点差までリードを広げる。ホーステールも最後まであきらめず2連続得点し、差を詰めるが、ここでむなしくも終了のホイッスルが鳴り、37-21でキャロットの勝利で試合終了。

(チーム名) B7 沖縄フェニックス	62	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>14</td><td>1P</td><td>20</td></tr> <tr><td>12</td><td>2P</td><td>22</td></tr> <tr><td>18</td><td>3P</td><td>16</td></tr> <tr><td>18</td><td>4P</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>延長</td><td></td></tr> </table>	14	1P	20	12	2P	22	18	3P	16	18	4P	14		延長		72	(チーム名) 72 神奈川ジャンクス
14	1P	20																	
12	2P	22																	
18	3P	16																	
18	4P	14																	
	延長																		
【決勝】																			

沖縄フェニックス											神奈川ジャンクス														
No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル				No	選手名	持点	ショット	先発	得点	野投			ファウル			
						2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P							2P	3P	FT	1P	2P	3P	4P
8	比嘉信明	1.5	円内																						
10	當間貴志	1.5	円内	⊗	10	4	0	2	2	0	0	2													
11	上間喜昭	3.0	上																						
12	仲根建作	3.0	上																						
⑬	山川淳二	2.0	円外	⊗	12	5	0	2	0	0	0	0													
14	洲鎌敏美	2.0	円外																						
16	仲里進	4.0	上	⊗	22	11	0	0	0	1	1	1													
17	玉城敦司	1.0	円内																						
19	内間寿正	3.0	円外	⊗	6	3	0	0	0	1	0	0													
20	牧志務	1.5	円内																						
21	大城一志	1.0	円内	⊗	0	0	0	0	1	0	0	1													
22	砂川昭人	4.0	上	×	12	4	0	4	1	0	0	0													
コーチ		神里和彦			—	—	—	—					コーチ		石守恒一郎			—	—	—	—				
合計					62	27	0	8	4	2	1	4	合計					72	35	0	2	4	2	5	3

主審	松元健	副審	門川浩人	副審	木村由貴子	記録者	山下真由
-----------	-----	-----------	------	-----------	-------	------------	------

戦評

【3連覇を狙う沖縄と、王座奪還を目指す神奈川との対戦となった】
 1Q、先制点は神奈川の#16山崎のランニングシュート、沖縄もすぐに円内シュートで返す。神奈川はオールコートでフロントコートから激しくプレッシャーをかける。対して沖縄は#22砂川のスピードあるドリブルで突破を目指す。終盤、神奈川のディフェンスが厳しくなり、沖縄のターンオーバーが増える。神奈川の#11田辺の円内ゴールが連続で決まり、20-14で神奈川リード。

2Q、神奈川は非常に高いラインでボールマンプレッシャーディフェンスをして、#16仲里を自由に動かせない。沖縄がボール運びに苦しむ間も、神奈川は円内が安定して得点していく。沖縄は上シューターを#22砂川に代えるも神奈川の激しいディフェンスは変わらない。神奈川は点差を広げ、42-26で前半終了。

3Q、後半も神奈川の激しいディフェンスは続く。沖縄も早い切り替えて攻めるが徐々に点差がひらいてくる。残り4分20秒、神奈川は20点差をつけるが、#14佐々木が5ファウルで退場。沖縄はこれを機に、#16仲里と#19内間の得点で反撃を見せる。58-44で第3Q終了。

4Q、開始早々、沖縄はスクリーンを使ったドリブル突破で連続得点で8点差までつめる。沖縄はディフェンスもプレッシャーを激しくするが、神奈川も円内シュートで応戦する。残り3分、沖縄#16仲里のスティールからのシュートで4点差となる。残り1分、沖縄のانسポートスマンライクファウルのフリースローを#11田辺が確実に2本決め勝負あり。神奈川は前半からのオールコートディフェンス、ボールマンプレッシャーがさええわたり、円内の走力、得点力も高く、終盤、沖縄の追撃を制し、タイムアップ。72-62で神奈川が王座奪還、日本一となった。

ワールドB.B.C	竹中久雄 加藤直生
-----------	--------------

厚生労働大臣杯争奪 第24回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会

対戦結果

